

そら
宙に限りなく近い

日本の屋根で

絶景に

出会おう

アルプスプロフィール

日本アルプスは、本州の中部地方に3000m級の峰を連ねる広大な山岳地で、北アルプス、中央アルプス、南アルプスの3つの山域からなる。

北アルプスは、富山県、長野県、岐阜県にまたがり、南北150kmを超える巨大な飛騨山脈の通称として知られ、穂高岳、槍ヶ岳、立山、白馬岳をはじめとする数多くの名峰を擁する。また、ふもとの上高地や室堂平は日本屈指の山岳リゾート地として多くの観光客が訪れてにぎわい、登山口に華やかな雰囲気漂わせる。

峰々は概して急峻で、険しい岩稜が目立つものの、登山道は縦横無尽にひらかれ、山小屋も多く点在することから、自由自在なトレッキングを計画できるのも魅力だ。なお、北アルプスは山域が広大なことから、本誌では、立山連峰と後立山連峰を北部、主稜線と常念山脈を南部としている。

南アルプスは、山梨県、長野県、静岡県にまたがる赤石山脈の通称であり、山岳標高日本第2位の北岳を擁する。なお、山梨県と長野県にかかる北側エリアと、長野県と静岡県にかかる南側エリアに登山口がわかることから、本誌では南アルプスを北部と南部に大別している。

北岳や甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳が座して人気の南アルプス北部エリアは、高速道路や鉄道駅からのアクセスがよく、南部エリアはそれとは逆で山深く、秘境感にあふれる。そして南アルプスの峰々は、一峰一峰がどっしりとした量感を持つのが魅力。さらに北部も南部も高山植物の宝庫だ。

中央アルプスは、長野県南部に位置する木曾山脈の通称。木曾駒ヶ岳や空木岳、恵那山が日本百名山に名を連ねてよく知られ、木曾駒ヶ岳はロープウェイで手軽にアクセスできることから、アルプス入門の山として人気が高い。

日本アルプスには、数年かけても歩ききれないほどの山々がそびえ、無数のルートがあり、尾根や稜線、山頂から望む絶景の数は計り知れない。まだ見ぬ感動の絶景を求めてアルプスを目指そう。

